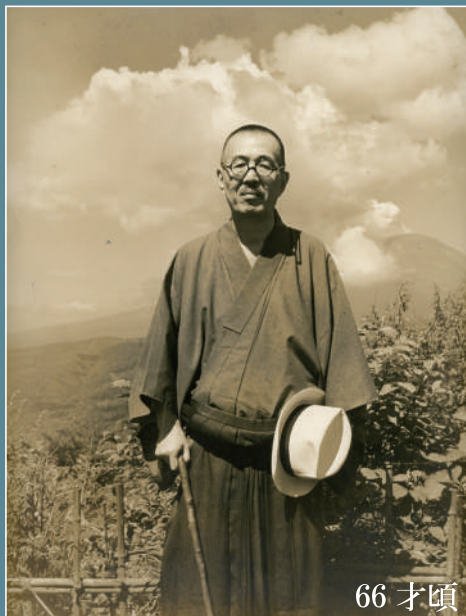


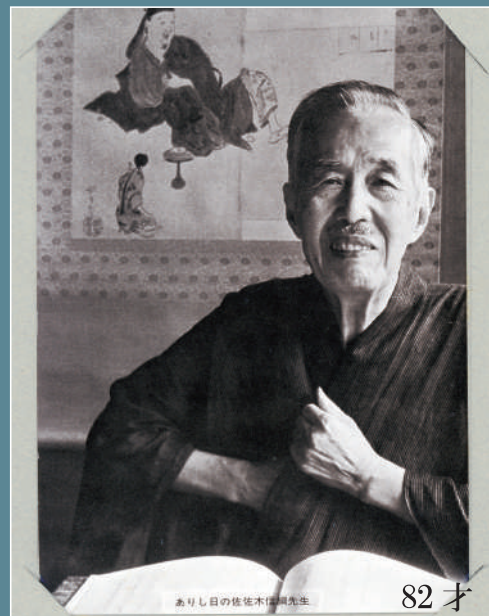
歌のこころ・信綱のこころ



32才



66才頃



ありし日の佐佐木信綱先生

82才

入館無料

2024年 1月17日(水) ~ 3月17日(日)

佐佐木信綱記念館 三重県鈴鹿市石薬師町 1707-3

開館時間 9時~16時30分

入館料 無料

休館日 月曜日(休日の場合翌日)、第3火曜日、
年末年始(12月28日~1月4日)

付属施設 資料館、生家、土蔵、
石薬師文庫閲覧所(第1・第3土曜日の13時~15時)

アクセス 近鉄鈴鹿市駅からC-BUSにて佐佐木記念館下車徒歩約2分
近鉄四日市駅から三重交通バスにて佐佐木記念館下車徒歩約5分
東名阪自動車道 鈴鹿ICから車で約20分

主催 鈴鹿市

助成 公益財団法人 岡田文化財団

佐佐木信綱
記念館HP



展示説明会

学芸員によるギャラリートークを開催します。お気軽にご参加ください。

日 時	1月26日(金) 13時30分 2月16日(金) 10時30分
会 場	記念館1階展示室
申 込	不要
参加費	無料
所要時間	30~40分程度

配布物

先着500名様に、展示内容を解説した図録を無料で配布いたします。

問合せ先

TEL&FAX 059-374-3140

URL <http://suzuka-bunka.jp/sasaki/>

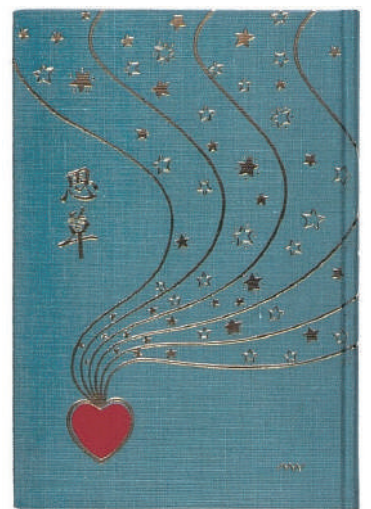
歌のもとるは、めづる心である。あらゆる感動のうちで、物をめづる心は最も切である。(中略)めづる心は、歌のもとるである。歌は、物をめづる心からのものである。

〔歌のみなもと〕佐佐木信綱著『わが文わが歌』六興出版部、1947より



佐佐木信綱は、明治5年(1872)6月3日、父・弘綱ひろつなと母・光子みっこの長男として、石薬師村(現在の三重県鈴鹿市石薬師町)に生まれました。明治10年(1877)12月に松阪に移住するまで、石薬師で過ごしました。その後、11歳の年に父につれられて上京し、現在の東京都千代田区神田小川町にしかたまち、文京区西方町に居住しました。73歳の年に熱海西山の凌寒荘に移住し、昭和38年(1963)12年2日、熱海にて92歳で永眠しました。

今回の特別展では、6歳ではじめて歌を詠み、生涯一万首以上作歌した信綱の、歌人としての仕事を時代別に分けて紐解きます。新派歌人時代、充実期、熱海時代のそれぞれに発表した歌集を紹介し、序文にこめた信綱の思いや、歌集刊行に至るまでのエピソード・創作過程などを紹介します。



第1歌集『思草』

博文館, 明治36年(1903)
(協力: 博文館新社)